

令和 8 年度稲敷市英語検定受験対策講座実施業務委託
プロポーザル審査（評価）要領

1. プロポーザルの評価

- (1) プロポーザルの評価は、本要領に基づいて行い、それを参考に審査委員会の審議により選定する。
- (2) 企画提案書等の評価表及び配点は、下記のとおりとする。

2. 企画提案書等の配点

評価項目	評価項目の種類	配点
企画資料等	・所属講師数、同種業務の実績、参考見積額	20
企画提案書	・講師の指導歴等 ・カリキュラム等	60
ヒアリング	・取組意欲 ・プレゼンテーション能力	20
合 計		100

3. 企画資料等の評価基準

企画資料等の評価は、次の評価基準に基づき評価点を算出し、20点を満点とする。

評価項目の種類		評価基準	配点
所属講師数・実績・見積額	所属講師数	参加者中、最も多い者が5点とする。 以下、講師数に応じて点数を比例配分とする。（小数点以下第2位を四捨五入）	5
	過去5年間の同種業務の実績	地方公共団体の同種業務の実績 ・10件以上の実績を有する者は5点 ・6件から9件の実績を有する者は3点 ・3件から5件の実績を有する者は1点 ・3件未満の実績を有する者は0点	5
	参考見積額	参加者中、参考見積額が最も低い者が10点とする。 以下、見積額に応じて点数を比例配分とする。（小数点以下第2位を四捨五入）	10
小計			20

4. 企画提案書の評価基準

企画提案書の評価は、次の評価基準に基づき提案内容の的確性、実現性、技術力等についての評価とする。採点は、評価基準に基づき評価点（小数点以下第2位を四捨五入した値）を算出し、60点を満点とする。

なお、企画提案書の内容がほとんど記載されておらず、提案内容が判断できない、業務目的に反する記載や事実誤認等、適切な業務執行が妨げられる内容となっている、実施方針と企画提案内容に矛盾等があり、整合性が図られていない場合は評価しない。

評価項目の種類	評価基準	配点
講師の指導歴等	①派遣予定講師の経験年数及び英語指導の経歴が十分にあり、一方的な指導ではなく、生徒の反応・習熟度にあわせた双方向で柔軟な講義の展開が期待できるか。 ②派遣予定講師が英検、TOEIC等の資格を保有しているか。 ③講師を採用・育成するにあたって、具体的な基準や方針が定められているか。また、研修体制や指導評価が定められているか。	30
カリキュラム等	①カリキュラムが十分に検討されているか。 ②到達度を測るための配慮がされており、生徒に達成感を持たせる講義内容か。また、家庭学習の方針を示すなど、受講者が自主的に学習をすすめるよう配慮されているか。 ③講義で活用するテキストが、英検合格に結びつく内容であるか。実施要項、仕様書、カリキュラムに沿った内容であるか。（市販であるか独自教材であるかというだけで評価点の差異は設けない。	30
小計		60

【評価項目の採点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.75
C	普通	配点×0.5
D	やや劣っている	配点×0.25
E	劣っている	配点×0

5. ヒアリングの評価基準

ヒアリングの質疑応答の内容について、次の評価基準に基づき、企画提案書に記載された事項に関する企画提案内容、あるいは取組み姿勢等に関する質疑応答を行い、専門技術力、取組意欲等について評価する。採点は、評価基準に基づき評価点を算出し、20点を満点とする。

評価項目の種類	評価基準	配点
取組意欲	・ 疑問点の質問など積極的な取組み姿勢	10
プレゼンテーション力	・ 質問に対する回答の的確性及び説明の簡潔性	10
小計		20

6. 企画提案書の特定

プロポーザル審査委員会は、提出された企画資料等、企画提案書、及びヒアリングについて、各々の評価基準に基づき算出された合計点が最も高い者を当該業務に最適な者として特定する。

なお、合計点が同点となった者が複数あった場合は、企画提案書の評価の得点がより高い者を特定者とする。